

第7回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成23年6月17日(金) 18時30分～20時30分

2 場 所 千城台公民館 2階ホール

3 出席者

(1) 委 員 19名 別添「千城台地区学校適正配置地元代表協議会委員名簿」参照

*欠 席 多田征平委員

藤井智英委員 ー 代理出席 角谷恵子 氏 (千城台南小学校PTA)

谷野和子委員 ー 代理出席 田村悦子 氏 (千城台東小学校区内自治会)

(2) 事務局 (教育委員会教育総務部企画課) 白井主幹、加茂主査、山崎主査補、安井主査補

(3) 傍聴者 11名

4 報告・議題

(1) 平成23年度協議会委員の確認

(2) 【報告1】協議の周知について

(3) 【報告2】PTA・自治会での意見・質問等

(4) 【議題1】前回の協議会での意見等

(5) 【議題2】前回提示した「先行地区(真砂地区)の地元代表協議会での協議」についての追加質問

(6) 【議題3】今年度の協議の確認

(7) 【議題4】千城台地区小学校の適正配置について

(8) 【議題5】次回開催日時・場所について

5 会議資料

(1) 資料1 前回(第6回)協議会(平成23年2月4日実施)で出された意見等(要旨)、今後の協議について確認されていること、地元代表協議会の進め方

(2) 資料2 「真砂地区地元代表協議会における協議」に関する追加質問

(3) 資料3 真砂地区の小・中学校の統合に関する要望書

(4) 資料4 千城台地区の児童生徒数および学級数の将来推計

6 議事の概要

(1) 平成23年度協議会委員の確認

「平成23年度委員名簿」について確認・了承され、教育委員会ホームページに公開することとした。

(2) 【報告1】協議の周知について

事務局が「協議の周知」について経過を報告し、委員に確認された。

(3) 【報告2】PTA・自治会での意見・質問等

学校や自治会の各団体が、これまでの話し合いや活動などの報告を行い、確認し合った。

(4) 【議題1】 前回の協議会での意見等

【議題2】 前回提示した「先行地区（真砂地区）の地元代表協議会での協議」についての追加質問

【議題3】 今年度の協議の確認

資料1～3に基づいて、事務局がそれぞれの議題に関わる説明をして、質疑応答を行った。

(5) 【議題4】 千城台地区小学校の適正配置について

資料4「千城台地区の児童生徒数および学級数の将来推計」に基づいて、事務局が説明をして、質疑応答を行った。

(6) 【議題5】 次回開催日時・場所について

次回協議会は、平成23年9月2日（金）18時30分から20時30分、千城台公民館にて開催することとした。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶

昨年度は、6回の協議会を経て、いろいろな視点から話し合われ、これから中核の論議に入っていく。役員改選等で、新しい委員の方もいらっしゃるが、今までの協議内容を十分把握していただき、全員が同じ認識の下、進んでいきたい。

また、「千城台教育を考える会」からプリントが出されているが、ご意見がある方は後ほどお願いしたい。真摯な協議をお願いしたい。

(2) 「千城台教育を考える会」から出された内容について

〈菅原議長〉 それでは、報告・議題に入る前に、今回「千城台教育を考える会」から出された内容についてご意見がある方はお願いしたい。 *意見なし

(3) 報告

報告（1）協議の周知について

〈菅原議長〉 まず、事務局に資料の説明をお願いする。

〈事務局〉 前回協議会を受けて、「協議の周知」についての取り組みを報告する。

「協議会だより」を作成し、千城台地区の小中学校7校の全児童生徒に配布し、幼稚園、保育所、公民館、及びコミュニティセンターに掲示をしている。自治会については、安部会長の協力を得て、各自治会に回覧している。

また、説明会も並行して実施しており、千城台北4丁目自治会の役員会、北小PTA総会、千城台地区7校校長会、千城台西中学校区青少年育成委員会総会の際に説明と意見交換を行った。

〈菅原議長〉 事務局の説明に対して、質問はあるか。 *質問なし

報告(2) P T A・自治会での意見・質問等

- 〈菅原議長〉 前回の協議会以降、各校P T Aや自治会等で話し合ったり、話題に出たりしたことがあれば、その様子をお聞かせ願いたい。まず、各学校から願います。
- 〈高野委員〉 P T A総会時に教育委員会に適正配置について説明してもらった。質疑応答の中では特別支援学級についての質問などが保護者から出された。今後の様子を見守っていききたいという保護者が多い状況である。
- 〈佐々木委員〉 東小で、学級懇談会の後に162名程度の参加の場を設定していただいた。そこでは、適正配置についての意見や考えを次の4点に沿って聞いてみた。
- ①東小の中学校区が、南中と西中に分かれていることについて
 - ・南中か西中のどちらか選択できるとよい。
 - ・現在よりも、南中と西中の交流をしてほしい。
 - ②平成20年度から地元代表協議会が継続して開催されているが、個人的な意見として何かあれば出してほしいと聞いたところ
 - ・いつになったら統合が決まるのか。(何年ごろに統合が決まるのか。)
 - ・行政の都合で決まってしまうのではないか。
 - ・通学距離について、十分考慮してほしい。
 - ③東小で、適正配置の説明会を開催したいと考えていることについて
 - ・もう少し話が具体的に進んでから開催してほしい。
 - ④適正配置の説明会の時期については、進展が見られる1年後ぐらいがよい。
- 適正配置の説明会については、本部でいろいろ検討した結果、7月14日(木)に教育委員会にきて説明してもらおう予定である。
- 〈大和久委員〉 西小では、前回の協議会で報告した通りアンケート調査を行ったが、それ以降は特に適正配置についての話し合いはもっていない。
- 〈角谷氏〉 南小では、うわさが先行してしまい、よくわからないという保護者がいる。この適正配置について話し合いがある程度進んでから、説明会等を持ちたいと考える。
- 〈奥田委員〉 旭小では会長がかわったので、前年度からの意見や考えを引き継ぎながら、本日の協議会の内容を踏まえて、話し合っていきたい。
- 〈來住委員〉 初めて参加したが、「いつ統合が行われるのか、どの学校が残るのか」など、大まかな方向性が示されないと、実際に話し合いをもつことが難しい。
- 決定している事項だけでも整理して、情報を伝えてもらえるとよい。
- 〈山崎委員〉 南中では、P T A理事会で教育委員会に来てもらい、説明会を行った。全体的には適正配置については関心がない状況である。先日の体育祭でも、「南中の生徒数は丁度よい人数である。」という意見を聞いた。また、適正配置については、小学校が先で、中学校は後となると考えている。今のところ、保護者の関心は高くないので、様子を見ている段階である。
- 〈中村委員〉 地域と学校が交流していくことは大切であると考え。地域に子どもの声が聞こえることはとても活気づいて、良い影響を受ける。
- 〈加瀬委員〉 町内会で適正配置についての議案提案を行い、町内住民の意見を聞いている。私自身も協議会委員として2年目に入ったが、適正配置について理解できないところはよく消化しながら、そして、学校P T A等の意見をよく聞いて考えていきたい。

- 〈田村氏〉 具体的に話し合いが進んでいないので、様子を見ながら十分考えていきたい。
〈児玉委員〉 旭小のすぐ前に私たちの自治会がある。自治会としても十分検討していきたい。

(4) 協議

議題(1) 前回協議会での意見等

(2) 前回提示した「先行地区(真砂地区)の地元代表協議会での協議」についての追加質問

(3) 今年度の協議の確認について

〈菅原議長〉 議題1～3をまとめて、事務局に説明をお願いします。

〈事務局〉 前回協議会での意見等、前回提示した「先行地区(真砂地区)の地元代表協議会での協議」については資料1に示した通りである。また、「真砂地区地元代表協議会における協議」に関する追加質問については資料2を、「真砂地区の小・中学校の統合に関しての要望書」については資料3を参考にしていきたい。

今後の協議については、「まず、小学校の統合の必要性についてから協議に入ること、小規模校のメリット・デメリットから検討していくこと」が確認されている。

〈菅原議長〉 事務局の説明に対して、質問はあるか。

〈鈴木委員〉 先ほどのPTAの意見を聞いてもっともだと思った。いつ統合されるのか等、具体的に決まらなないと進まない。協議会として、本年度、目指すべき到達点があれば示していきたい。目標が明確にないと、意見は限りなく出てくると思われる。

〈事務局〉 協議会については、十分時間をかけて協議していただきたいと考える。期限はない。協議の進捗に合わせながら進んでいく。

〈安部会長〉 協議会も2年目に入ったので、まずは小学校の適正配置について協議していく中で、今年度中に目途が立てばよいと考える。協議に合わせて進めていきたい。

〈土屋委員〉 統合の場所を決めた方がよい。具体的に話を進めていく中で、統合するかしないかも考えていければよいと思う。具体的な案をたたき台にして、進めていただきたい。

〈加瀬委員〉 小学校の統合については3校になっても2校になっても心配している。

仮に北小と西小が統合して西小を統合場所とした場合、児童数が増えるとグラウンドが狭いのではないかと考える。3校統合とした場合は、児童数ももっと増えるので、よりグラウンドが狭くなる。

〈事務局〉 グラウンド(運動場)については、小学校の設置基準に規定されているが、どの学校も基準を満たしている。

※小学校の設置基準では、運動場については仮に500人とした場合は5000㎡以上となる。

また、721人以上はすべて7200㎡以上としている。

千城台地区小学校の運動場面積 (平成22年度施設台帳より)

千城台北小	10,858㎡
千城台西小	11,349㎡
千城台東小	7,921㎡
千城台南小	9,138㎡
千城台旭小	8,823㎡

議題（４）千城台地区小学校の適正配置について

〈菅原議長〉 議題４について、事務局に説明をお願いします。

〈事務局〉 学校規模という場合、「児童生徒数」と「学級数」が挙げられる。資料４「千城台地区の児童生徒数および学級数の将来推計」に基づいて説明する。

○児童生徒数の推計

- ・今後も多くの小学校で減少していくことが見込まれる。

○学級数の推計

- ・今年度から小学校１年生の３５人学級編制が始まった。

今後、仮に２年生、３年生と順次３５人学級編制が導入されていったとしても、これによって影響があるのは、２８年度と２９年度に東小で１学級増えるのみである。このようなことから、千城台地区では小規模校化（１１学級以下）が継続していくことが見込まれる。この状況を踏まえて、小規模校のメリットを生かすとともに、小規模校のデメリットを解消できる学校規模にすることが必要であると考える。

- ・事務局としては、「学校適正配置実施方針では千城台地区は小学校５校を２校としているが、それにはこだわらない」、「通学範囲等の地域の事情を考慮する」、「１学年に複数学級、且つ１学級あたりの規模は、小規模校のメリットであるきめ細かい指導のできる環境になることが望ましい」と考えている。

〈佐々木委員〉 資料４「千城台地区の児童生徒数および学級数の将来推計」の２３年度は実数で、学区外の児童も入っていると思われるが、２４年度以降は学区外から通う児童が入っているのか。

〈事務局〉 ２４年度の２年生以上については、２３年度の児童数を反映しており、学区外の児童も含んでいる。２５年度以降は、順次、学年がスライドしていくとして算出している。また、それぞれの年度の１年生については、住民基本台帳を基準として、入学率を掛け合わせて算出しているため、より実状にあった推計となっている。学区外の児童が多く入学する実態があれば、入学率は高くなる。

〈大澤委員〉 具体的な「たたき台」がないと協議が進まないと思う。「どこを統合する、しない」ということではなく、事務局にシミュレーションを示してもらって、それを検討していく中で、「学校規模」の点で協議していけばいいのではないかと考える。

〈事務局〉 先程は土屋委員から、そして今は大澤委員からも、具体的なシミュレーションを示すようにとのご意見をいただいた。今後の協議を進める上から、シミュレーションを示した方が良いということであればそのようにしていきたい。

ただ、シミュレーションはあくまでも協議していく「たたき台」であり、統合を確定するものではなく、これまで同様に、事務局としては学校適正配置は「規模」と「配置」の視点から協議していくものであり、十分慎重に協議していくものであると認識している点は確認しておきたい。

〈菅原議長〉 協議の「たたき台」としてシミュレーションを示してもらうことでよろしいか。

〈一同〉 了解

〈事務局〉 では、次回協議会で提示したい。委員のみなさんから「こういう条件でシミュレーションを作ってきてもらいたい」というご意見をいただきたい。

- 〈佐々木委員〉 通学距離や安全については、保護者が一番心配している事項で、不審者も出ていて注意している。通学の安全性、通学距離を最優先に考えていただきたい。2.5 km 以内で通える範囲の学校どうしのシミュレーションなど、通学距離について考慮したシミュレーションがよいと思う。現在の中学校区を一切なくして考えてほしい。
- また、ラパーク前の大通りは渡らないという原則もあるとよい。
- 〈奥田委員〉 子どもルームに入れたいとの理由で学区外から通学するケースも多いと聞いている。子どもルームの設置場所が学校の敷地内なのかどうか大きい。子どもルームに通っている児童にも、配慮していただきたい。
- 〈酒井委員〉 そうしたことまで考慮するのはいかがか。実際のシミュレーションについては、教育委員会に委ねて作成してもらうことで良いと考える。
- 〈奥田委員〉 お母さんたちの意見を率直に伝えたまでである。できるだけ、保護者の意見や考えを入れていただきたいという思いからである。
- 〈土屋委員〉 あくまでもシミュレーションの段階であるが、2つくらいの案を出していただけるといいのではないか。
- 〈鈴木委員〉 先ほどから意見が出されている子どもルーム、通学距離をはじめ、専科教員の配置なども考えていただきたい。実現の有無はわからないが、専科教員が配置できなければ配置できるように改正すればよい。通学距離が遠ければ、学区外通学承認地域にして、より近くの学校に通えばよい。物事を考えるには、ルールが前提となっている。決まりを変えたりしながら、よりよい方向にしていくことも考えていただきたい。
- 〈佐々木委員〉 以前の協議会でもシミュレーションを出していただいたが、今回も同じような内容になってしまうのではないか。
- 〈事務局〉 以前に示したシミュレーションは、「中学校区を考慮せず、考えられるすべての2校統合の場合」であった。今回は、例えば「3校を統合する場合」など、新たな条件でのシミュレーションを提示していく等も考えられる。
- 〈大和久委員〉 これだけの委員のみなさんが集まって協議していくので、いろいろな面から話し合う中でより良い方向が決まっていくと思われる。7回も協議して積み重ねてきているので、事務局からシミュレーションを提案していただき、それを「たたき台」として、協議していく中で、建設的な方向に進むのではないか。例えば、小学校5校を1校に統合すると仮定した場合、場所をどこにすればよいのか考えることになる。やはり、「たたき台」があった方が、話し合いが進むと考える。
- 〈鶴岡委員〉 現実的には、通学距離が大切である。また、「小学校は5校を2校とする」という方向性があるが、千城台地区の実態を考えた場合、「5校を3校にする」というのが一番良いのではないかと考える。「2校統合した場合」の通学距離などの課題を考えるなど、手順をきちんと踏んで進めていくことが大切である。
- 〈安部会長〉 私個人としては8通りのシミュレーションを考え、最終的に4通りに至った。
- 〈石原委員〉 やはり、シミュレーションしてみないと話が先に進まない。「5校が3校になる」シミュレーションを作成していただき、協議していければと思う。
- 〈村田委員〉 シミュレーションをもとに、具体的に進めるのはよい。ただし、地域としては統合を進めるということは「学校がなくなる」ということにもなるので、防災時の役割などいろいろな面から慎重に考えていきたい。

- 〈高野委員〉 小学校の適正配置から考えるということなので、シミュレーションを示してもらい、「たたき台」として協議をしていくことが良いと考える。
- 〈事務局〉 先行地区である、真砂地区や高洲地区でも同じ流れで進んでいった。小規模校にはメリットとデメリットがあり、子どもたちの成長にとってより良い教育環境を考えていく中で、現実的な条件でのシミュレーションの要望があり、それを「たたき台」に議論を深めていった経緯がある。
- 〈鈴木委員〉 資料1「地元代表協議会の進め方」にある流れの図でも、その通りに進んでいると考える。
- 〈來住委員〉 現在は治安が悪くなっているので、防犯上、通学距離や安全性については一番心配である。その点も考慮した方がいいかと考える。
- 〈事務局〉 委員のご意見を踏まえ、「小学校5校を3校にしてみた場合」のシミュレーション、「通学距離に配慮した」シミュレーションを作成したいと考える。シミュレーションを作るにあたってその他の条件がある場合は、本日の議事要旨（案）とともに記入用紙と一緒に送るので、返送していただきたい。
- 先程も述べたことの繰り返しになるが、次回に示すシミュレーションはあくまでも協議していく「たたき台」であり、学校適正配置は「規模」と「配置」の視点から、慎重に協議していくものであることを確認しておく。
- 〈菅原議長〉 次回の協議会では、事務局にシミュレーションを示してもらい、それをもとに検討していくこととする。

議題（5）次回開催日時・場所について

- 〈菅原議長〉 「次回開催日時・場所」について、事務局からの提案をお願いする。
- 〈事務局〉 おおむね2ヶ月に1度のペースで開催する旨の了承を得ているので、次回は8月下旬から9月初旬となるので、9月2日（金）18時30分から、千城台公民館で開催ということでいかがか。
- 〈一同〉 異議なし（了承）。

（5）連絡

- ・ 次回は、9月2日（金）18：30～、会場は千城台公民館にて開催する。
開催通知は、委員の方々には前もって送付する。欠席の場合は早めに事務局まで連絡をお願いしたい。なお、代理出席も良いので、ご検討願いたい。
- ・ 本日の議事要旨については、案を作成し、委員の方々に確認していただく。
期日までに回答がない場合は「修正なし」とさせていただきます。
委員の確認終了後、修正・確定した議事要旨を教育委員会のホームページ上で公開する。
- ・ 今日の協議内容と次回の開催日時について各組織の方々にもお知らせいただきたい。

（6）会長挨拶（安部会長）

最近アメリカの学校を見る機会を得たが、日本との違いをさまざま実感し勉強になった。本日は各委員から活発な意見が出て、大変有意義であった。次回も、同様にお願いしたい。